



## 4年間の学びの集大成！人文学部「卒業論文報告会」と「Capstone Project Symposium」が開催されました

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）人文学部では、「卒業論文報告会」と「Capstone Project Symposium」を1月30日に開催しました。約1年かけて準備、執筆する卒業論文は、4年間の学びの集大成として位置づけられています。「卒業論文報告会」では、各学科から選出された優秀かつユニークな卒業論文の執筆者18名が、「Capstone Project Symposium」では、人文学部のGSC(グローバル・スタディーズコース)英語プログラム※の学生から選出された3名がそれぞれ研究発表を行いました。

※GSC(グローバル・スタディーズコース)英語プログラムは、2022年4月に国際教養学部国際教養学科グローバルスタディーズ専攻（GS専攻）に移行しました。

### 卒業論文タイトル

#### ■英語英米文化学科

- ・ 「インターネット・ミームの持つ政治的な影響力ーカエルのペペを例に一」
- ・ 「声質による音声学の再体系化ー声質の分類とその獲得を目指してー」 ほか

#### ■ヨーロッパ文化学科

- ・ 「在日クルド人から見る日本の外国人政策の問題点」
- ・ 「『ブリキの太鼓』とカミュ文学ー物語世界における不条理哲学ー」 ほか

#### ■日本・東アジア文化学科

- ・ 「妖怪の『親玉』～黄表紙における見越し入道～」
- ・ 「『万葉集』における「あふ」の漢字表記について」 ほか

#### ■GSC（グローバル・スタディーズコース）英語プログラム

- ・ The Influence of *Seventeen* Magazine on High School Student Femininity in 2014-2019: An Analysis through School Uniform Outfits
- ・ From Implicit to Explicit : Evolving LGBTQ+Representations in Australian Cinema and the Challenge of Narrowed Diversity ほか



卒業論文報告会で発表する学生



Capstone Project Symposiumの様子



発表を傾聴する学生たち

#### —報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 E-mail：[pubg-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubg-r@sec.musashi.ac.jp)

## ■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

---

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

